

平成 29 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原児童館)

開催日時	平成 29 年 11 月 16 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時	天気 曇り
場 所	向原児童館	
町民参加者	男 25 人 女 0 人 (30 代 1 人、60 代 11 人、70 代以上 13 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼農林課長、総務防災課長、上下水道課長、都市整備課長、新東名対策室長、定住対策課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：大災害時の広域避難所への避難について》

○今年の防災訓練は一時避難所・広域避難所まで徒歩で行ったが、大雨が降った際は徒歩で避難するのは難しいと思うので、車を使った避難訓練も行ってはどうか。

○町内でも 8 月に大雨被害があったが、どの程度の雨で崩れてしまうのか。どういう状況で避難し、またどういう対処をしたのか。

○向原でも安洞地区で土砂崩れが危険だと言われているが、実際どの程度の雨が降ったら危ないのか、その地区の住民もよくわかっていないので、役場で周知してほしい。また、町内全地区ごとに住民の対応マニュアルやチェックリストを町で作って指導してくれないかということ要望として伝えたいが進んでいるか。

○三角山は上の方は土砂がなく、岩場に木が生えているため雨が降ると一気に水が出る。今年 10 月の一回目の台風のときは、畑のイノシシが荒らした部分が崩れ落ちた。そういった場所が何か所もあるし、高松の林道も大きく崩れ落ちている。今までは山に土があり、植林された木や雑木が生えていたため、水が蓄えられ、土砂崩れの被害はさほどなかった。尺里川の水位が上がるのが 10~15 分くらい早くなり、深さも増している。このままでは尺里川自体が削られて道路ごと落ちてしまうことも考えられるので、山の木が売れるような方法を考えてもらい、新しい木を植えなおさないといけない。

○滝沢川には水量計が設置されているが、水量が少ないからといって安全なわけではない。滝沢川の上流のトンネルが木によってふさがれて水があふれ、東名の側道の方を通過して家に 5cm ほど水が入ったことがある。向原地域でも沢が 3 つあり、以前定点カメラを設置してほしいと要望したが、進捗状況や今後の計画についてどうなっているか。

○小さい沢が 3 つあり、幅が狭ければ狭いほどあふれやすい。上流に定点カメラを設置すれば沢がどういう状況であるのか、詰まっているか詰まっていないのかがわかり、下流にいる方に危険な

場合は連絡ができるのではないか。

○本村地区は山北高校が広域避難場所となっているが、避難者が寝泊まりするための備品がなく、拡充してほしいと要望したがその後どうなっているか。後で町が届けてくれると言っても役場も混乱すると思うのですぐには対応できないと思う。

○3日間分の備品を持って避難するのであれば家にいた方が良いのではないか。

○道の駅に登山届がない。なぜ置かないのかと登山者から言われた。

○尺里川の河床が流れた。新設についてどういう計画になっているか。

歩道に穴が開いていて水が尺里川に流れるようになっているが、枯葉があると水が流れず、道路を伝って前耕地まで水が来てしまうことがあった。グレーチングの枯葉を自治会で取り払うのは防災の意識を高めるためにも良いことだと思うが、町道は町の管理なので町がやるものだという意見が自治会の中から多く出た。

○下本村地区は下本村コミュニティセンターで避難訓練を行ったが、その際、防災無線で何か放送されていたが、前の広場では何も聞こえなかった。選挙中の無線も聞こえなかった。コミュニティセンターの東側に回れば何とか聞こえるが、西側の広場ととれたて山ちゃんの方は聞こえない。山北高校のすぐ近くで町による無線の検査をしていたようだが何をしていたのか。ぜひコミュニティセンターでもやってほしい。

○平成34年度までにデジタル化することなので、今直しても無駄になってしまうのではないかな。

○アマチュア無線について登録はしたが、どのように運用していくのかわからないと言われたことがある。

○観光おいて、つぶらの公園をもっと活用するべきではないか。大野山からつぶらの公園まで架線を引いて日本一長い架線とし、そこにぶら下がりて富士山を見てもらうのはどうか。

○つぶらの公園に孫と一度行ったが、遊具がないため孫とはもういかない。富士山が良く見えるので年配の方には良い。座談会で町を活性化するためどうしたらよいか取り上げてみてはどうか。

○水上の事務所の前の広い道のわきには用水が流れているので、ふたをするかガードレールを設置しないと車が落ちてしまう危険がある。